

## 平成28年度第8回 未来創造セミナー実績報告

平成29年2月7日  
草津市総合政策部草津未来研究所

### 1. 平成28年度未来研究所事業 未来創造セミナーの目的

平成27年度は、草津市、特に南草津駅を中心とした地域の課題解決には「気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造」される場が必要との過去の調査研究等の提言を受け、常設拠点の必要性の確認と常設拠点を設置した場合の運営手法やプログラムの検討を目的に「未来創造セミナー」を6回開催しました。その結果、このような家庭でも学校でも職場でもないいわゆる第三の場所“サードプレイス”が南草津駅には必要なことがわかりました。

一方で、大学との連携強化プランを検討する草津市大学地域連携強化プラン懇話会を設置し、新たな大学と地域の連携拠点として全国11か所で展開されているアーバンデザインセンターの一つとして、(仮称)アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)を開設することが了承されました。

平成28年度は産学公民連携のプラットフォームであるアーバンデザインセンター(平成28年10月15日(土)に市民交流プラザ内に開設予定)を拠点として連携・協働の土壌づくりを目的に未来創造セミナーを開催します。

### 2. 未来創造セミナーの目的

平成27年度の未来創造セミナーの試行結果、及び草津市大学地域連携強化プラン懇話会における議論等を踏まえ、アーバンデザインセンター事業として実施する平成28年度の未来創造セミナーについては主に次の二つの目的で実施することとしました。

	機能	内容	回数
未来創造セミナー	交流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	4~6
	連携	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、社会実験等に接続	4~6

### 3. 第8回 未来創造セミナー概要

#### (1) テーマ、目的等

##### ①テーマ

「第1回 UDCBK 新拠点を考える」

##### ②目的 (連携)

～まちづくりキャンパスをデザインする～と題して2回にわたってUDCBKの新拠点について考える。第1回目としてUDCBK新拠点の整備内容に市民意見を取り入れるワークショップを行う。

③開催日：平成29年2月7日(火曜) 18時30分から20時00分

④開催場所：草津市市民交流プラザ 大会議室

#### (2) 当日のスケジュール

18:30	開会
18:35	UDCBKセンター長 挨拶
18:40	アイスブレイク 2回の進め方説明など
18:45	プロジェクターによる説明 (移転場所の規模や他のUDC及び商業施設の事例紹介など)
19:05	グループワークショップ
19:35	グループ発表
19:55	専門家の意見と講評
21:00	閉会 次回の説明

#### 4. 第10回未来創造セミナーの内容について

##### (1) ワクワクドキ！みんなで語ろうUDCBK新拠点

及川センター長より

◇ 天井が高いという特殊性を加味したデザインを

◇ まちづくりの意見交換を行う3次元模型（ジオラマ）を置くなどの提案

※新拠点についてはいろんな視点を持ち、柔軟な発想で意見を出し合ってください。



及川センター長の説明の様子

##### 他の地域のUDC及び商業施設等の事例紹介

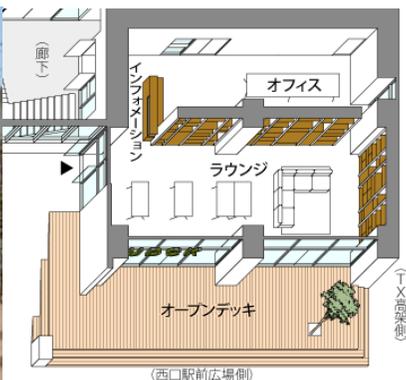


写真1. 柏の葉UDC事例

<新拠点概要>

規模の説明（市民交流プラザの大会議室でのワークショップを行い、この会議室より大きいことを実感してもらう）

場所：南草津駅前の商業施設1階（路面）

規模：幅 約10m 奥行き 約22m 高さ 4.5m

(2) グループワークショップ

ワークショップ進め方

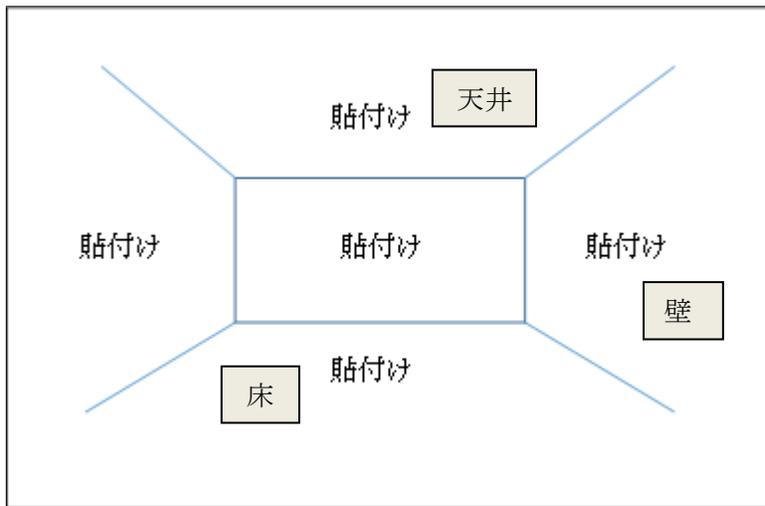
1枚目の模造紙

- ① このキャンパスで何ができるか
- ② そのために必要な機能は何か
- ③ どんな雰囲気の施設にしたいか

まず①②③について考えを書き出す → 類型ごとに概略をまとめる

2枚目の模造紙

1枚目にまとめた概略を2枚目の模造紙（図1）にポストイットで貼り付ける。



(図1)

## ワークショップ発表

4グループでチームとなり、議論、発表していただきました。

### チーム名：壁ぶち抜いてみる



写真2. 発表成果の事例

- 模造紙が山盛りになってピンでとめてある机があれば、描いては破り、持ち帰りたければ持ち帰り、掲示したり自由にできればいい。そのスペースも常設だと大変なのでテントを広げるなど可動式に。
- 机も大きいものひとつより、小さいものを組み合わせてフレキシブルに使いたい。
- 事務的ではない感じのよいパーティションで仕切られたい。
- 蚊帳の中で秘密会議風にしたい。
- 場所をとるチラシの代わりに液晶画面で情報がどんどん変わるサイネージを取り入れ、興味のあるものはプリントアウトして持ち帰れるようにしたい。
- 他の利用者の活動などの情報を共有できる何かがあればいい。
- 音楽や子どもの声や議論が交じり合っても大丈夫な雰囲気欲しい。
- 料理教室や、障がいを持つ人も利用しやすいスペースがいい。
- 大学生の立場から、中高生の発表する場がなく、自分から意見を発信していく場として聞いてくれる人がいれば練習にもなってくれる。

- この場に来て得るものがないと集客にもつながらない。
- 市のホームページから入るのでなくUDCBK独自のホームページがあれば分かり易い。
- ハコモノ施設が消えていくなか、他の施設でできなかつたこと、やりにくかつたことを挙げ ていくことで、UDCBKですべきことも具体化するのではないか。
- UDCBKは草津全体で考える、使う場所という意識を持って何ができるか。
- 行政の方にも関心を持っていただき、ここで話し合つたことを行政に反映したい。
- 人が集まり、つながることが大切
- 隣の無印良品に行ける扉を設け、往来したい。

## チーム名：Qちゃん

- 天井からブランコ、ドローンをとばす、3Dプリンター、VR、真っ暗な空間でプラネタリウムなど遊びゴコロがいっぱいに
- 入口に足あとマークを描いて道路から誘導
- 入口からマルシェが覗き見られる
- 扉は透明
- 壁に映画を映すプロジェクター、登れる壁
- 子どもの絵の展覧会
- 大きなモニターを壁に貼り付け、議会中継を映したりネットにつなげたりする。
- 子どもの科学ふれあいコーナー
- 柏の葉など全国のUDCとつながる場所
- オープンキッチン、ライブスペース
- えふえむ草津のサテライト
- 手話を習う場所
- 学生のライブ
- 大人だけが集うのではなく小中高生が集まって意見を言える場所が欲しい。

## チーム名：マリリンとゆかいな若者たち

- 日本語の学習、外国語の学習、異文化体験、多国籍カフェ
- ピンがはれて穴があかない左右の壁
- セパレートになる机
- 南草津には障がい者が自由に来れる場所がないので今回の新拠点がバリアフリーで、自由に立ち寄れる雰囲気、発信となり、手話サークルや茶話会ができればいい。
- 情報発信として「ゆずります・ほしいです」のコーナーがあればいい。
- (高校生の視点から)音を遮つた自習空間がほしい。
- こどもからお年寄りまで共通して楽しめる音楽。ピアノ、キーボードなど
- 24時間開いていて欲しい。
- 名札を使用してのやりたいこと、できること、今してることのマッチング
- Wi-fi、コンセントが必要

## チーム名：リッツ

- 助成金・補助金の情報があればうれしい。
- 質問箱を置いてそれをまとめて、立命の先生や専門家が答えてくれる。
- 草津のおみやげものの販売の情報
- 姉妹都市交流の都市とオールタイムスカイプできたらいい。
- 日本料理の本を外国人向けに英語で、外国の料理の本を日本人向けにできたらいい。
- 交流会パーティーができたらいい。
- 子どもが遊べるような、やわらかい素材の遊具や安全なスペース。
- 子どもがお絵描きできる壁一面の黒板
- 旬な人の採りあげやお店の紹介
- 情報として世界地図や日本地図、世界地図や草津地図を床に貼る。
- 今集まってる場所でどんな作業が進行中で、また何かあったら来てね、といった触媒
- 全体のスケジュール一覧が欲しい
- 仲間集めの掲示板・まちの中で悩んでる課題に対してアドバイスできるなど目的別の掲示板もあればいい。
- 透明のボード（両面から描いたものが見える状態）
- 模型作りなどするための作業用の台・汚してもいいスペース
- 入口に英語日本語以外の多言語の案内があれば様々な国の人にも施設の利用を促せる。
- 壁面にロッカー
- 天井に掲示や展示用のレール
- スペースと、いつ何をやるかをしっかり分けたほうがいい。
- 小学生で欲しいスペース・・・「落ち着いて勉強できるスペース」

## 書面参加

- ひくめの下駄箱や子どもの手が届く安全な机があると良い。
- 本棚・絵本から小説までを置く。
- 汚れがおとせる流しが欲しい。
- 食で健康、ミニクッキングなどの設備があると良い。
- 老若男女や外国人が集まれるリラックススペース
- ボルダリング、高さ2m幅3m程度のもので健康器具を設置
- できたものを飾りたいので鉤の打てる壁でスポットライトがあればなお良い。
- ピクチャーレールで壁に展示ができるように
- 転んでも大丈夫なやわらかめの床、畳など

### (3) ワークショップ まとめ

<講評 武田副センター長>

新拠点となる場所では「テーマを持って集まるひとたち」というのがひとつの条件で、そういった人たちが集まって自由に時間を過ごし情報交換する場になるかと思う。日頃設計に携わる経験からいうと使う人の要望や意見が非常に重要なため、今日のワークショップでは貴重な情報がたくさん集まった。予算が限られた中でどのように最大限フル活用できる場所を設計していくかという課題もあるが、ワークショップで蚊帳などのアイディアが出たように、後から自分たちで付加していけるような包容力のある場所にもしていきたい。

<事務局より>

今回の意見を取りまとめ、次回のワークショップで図面等により皆さんに案を提示させていただきます。

## 5. 未来創造セミナーとしてのまとめ

### (1) 参加者属性

女性の割合が少し高く、予定以上の多くの方々に参加いただきました。また、若い世代の関心も高く、今後の草津の未来を語る拠点を共に造りあげて行こうと市外からも参加いただき、新拠点に対する必要性和期待の高さを感じました。

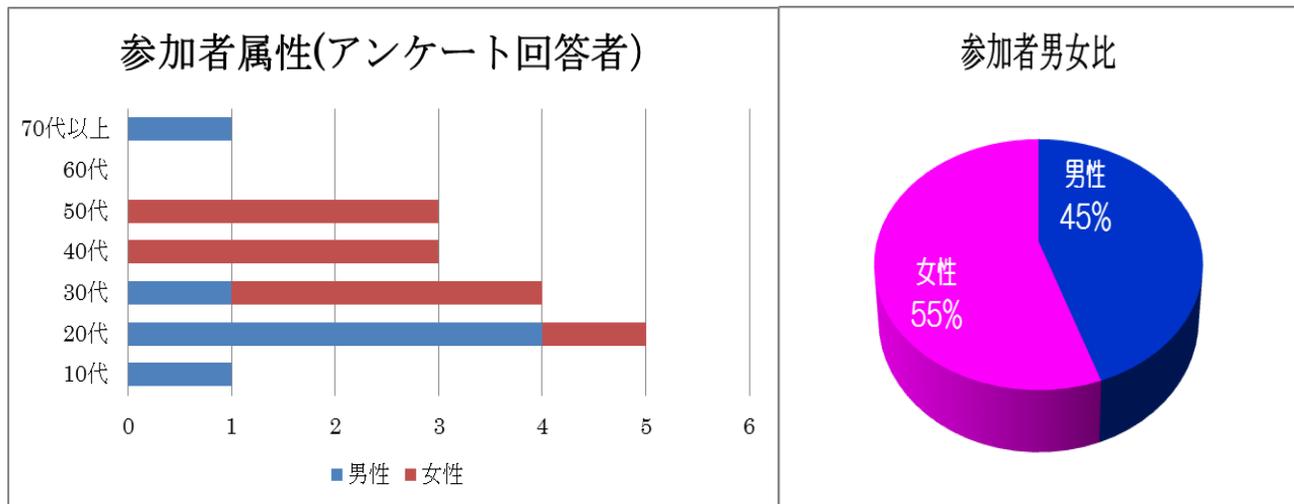


表1. 性別・年代別集計 (アンケート回答者)

表2. 参加者男女比

	草津市内	滋賀県他市	滋賀県外
居住地	11	6	0
勤務地	12	2	3

表3. 居住地・勤務地集計 (アンケート回答者)

## (2) アンケート集計結果

申込み者は32名で当日参加者は29名となりました。  
アンケート回収数は17件で、回答率は59%でした。

アーバンデザインセンターびわこ・くさつでのワークショップの内容としては、具体的で多くの意見をいただけたと思います。皆さんの発想の豊かさに気づかされ、また、まちづくりの拠点整備を市が一方的に決めるのではなく、利用者の視点で意見をいただき、みんなで創造していくということに関心を持っていただいたものと感じています。

### どこでこのセミナーを知りましたか？

Facebook	市役所のホームページ	UDCBK オープンスペースの案内	チラシ	先生・知人・友人	その他
6	0	1	0	8	1

### 今回のセミナーはいかがでしたか？

面白かった	ふつう	面白くなかった	無回答
12	4	0	1

## (3) セミナー参加者の主な意見

### (4)

- 色々な視点で意見が出ておもしろかったです。素敵なスペースになるかと思いました。
- 年齢など関係なく話すことができるのがベスト
- 初参加でしたがこれだけ多くの方が地域のことについて考えていることに驚きました。多種多様な発想があり大いに参考になりました。
- どれだけの方がこのワークショップがある事をご存知なののでしょうか。もっと多くの市民の方に参加してほしいですねー。お金がかからない形であればテスト的にでも導入してほしいです（アイデアを）ありがとうございました。
- 高校生や大学生など学生や主婦の方々が参加されていて市民参加の形だと思いました。
- 参加者がワークショップに慣れているので話がはずんでとてもよかった。他の所ではできなかったことをUDCBKではやろう！おえさんのコメントめっちゃよかった。時間通りに終わって下さい。
- 色々な意見が聞けて面白かったです。UDCBKの夢が広がります。ぜひみんなの意見が盛り込まれた場所を期待しています！私もぜひ関わりたいです！

- 意見交換できたのがとても楽しかったです。大人だけではなくて、子供もみんな参加してほしいなあと思った。（今回は大学高校小学生数名いたのはすごい！）やりたいことがたくさんあるってすごいことだなあと思った。場所ができるまでわくわく。場所をみんなでつくりあげる。たくさん関わればみんながファンになるからもっともっといろいろな人が交わることができるUDCBKになるな—と思う。アンケートはHPにUPしてほしいです！
- 最近似たようなワークショップが続いているような気がするので、具体化が実感できるような成果も小出しでいいので見せてほしい。商業者が集いたくなるようなしかけづくりが今後必要かと思いました。
- いろんな年代の方が参加していて、自分では思いつかない意見が聞けて、楽しかったです。どんな場所になるのか今から楽しみです。何回か参加しましたが今日良かったです。
- 新しい場所をつくるということで、一般の人を巻き込んで案を考えるのがおもしろいと思った。年代も様々で色んな意見が聞かれたと思う。グループの話し合いでは、1人ファシリテーターを配置して、話し合いが深くなる工夫が少し欲しかったと思う。
- 大人の方の意見を聞いて勉強になった。大人の方と学生が対等に話せる場所を作ってくださいって助かりました。
- Discussionの前に、他の施設の観察（調査）も重要だと思いました。
- 最後の先生のお話をおききして、後づけ可能なものと、後からでは難しいものに分けて優先順位をつけて欲しいと思いました。
- 「空間対応」のデザインづくりはイメージ形成に大いに役立った。「季節感」や多様な年齢階層の参加・交流できる空間づくり。安全第一で「やすらぎ」や「暖かい雰囲気づくり」が大切。「はじめての人もはいりやすい」対応「入口の処のしつらえ」「親子の共作空間」づくり。「地元の人々」の発表の機会として「家族・コミュニティの発表会場」休憩・くつろぎ・軽食・茶話会のできるコーナー。催しのPRコーナー（発信コーナー、写真展示コーナー）

#### （4）未来研究所としての成果

幅広い層の方の意見を聞くことが出来たと感じています。参加者の中には高校生も参加してもらって大人と一緒に議論出来る場所を提供することが出来たことは有意義であったと感じています。

また、視点の異なった意見をいただき、新拠点を設計する上で大いに参考になりました。

#### （5）今後の課題

多くの市民の方々からの意見をいただいたからこそ、出来る限り設計に反映したいと考えていますが、アーバンデザインセンターびわこ・くさつとして整備する基準をどのように設定していくのかが課題であると考えています。

以上